

搬送ベルト知っとく情報

(14年/02月)No.121

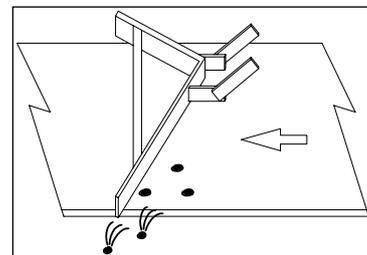
発行：吉野ゴム工業(株)

企画 中平

～ベルトコンベヤ設備をお持ちの皆様にお役に立つ情報をお届けします～

◆YOSHINO ワンポイント情報!◆

【ベルト裏面クリーナ・V型クリーナ】



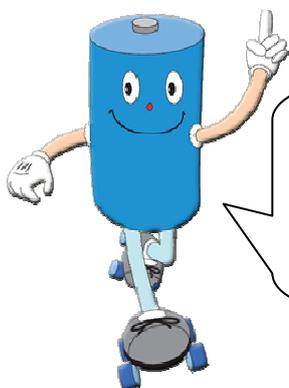
ベルトコンベヤのクリーナ装置といえば、搬送面をヘッドプーリ付近で掻き取るクリーナが一般的ですが、それとは別にテールプーリに異物を巻き込まないように、ベルトの裏面に設置されるクリーナがあります。

JISなどで名称の定義が特に無く、形状からV型・A型・三角クリーナまたはスクレーパなど、メーカーにより様々な名称で呼ばれています。単純にベルト裏面クリーナと呼ばれる場合もあります。

このクリーナの機能は、『荷こぼれなどによりベルトの裏面に乗った物がテールプーリに噛み込むのを防ぐ』ことで、ベルトの損傷や、プーリ付着物によるベルト片寄りの発生を抑止する重要な部品です。しかし、このクリーナを装備している場所があまり目立たないため、点検を見落とししていることが良くあります。

このクリーナの構造は、V型のフレームにゴム板（スクレーパ）を取り付けたユニットをコンベヤフレームから吊下げ、ベルトに引きずるような形で使うのが一般的です。幅の狭いベルトに設置する場合は、このV形状のクリーナユニットの重量は軽い（5kg前後）ですが、1000Wを超える場合はクリーニングユニット重量が10kgを超えるため、ユニットの自重をダイレクトにベルトへ預けると、クリーナゴムの摩耗が早くなり、取替頻度が増します。

摩耗を放置した場合、露出した鉄のフレームがベルトと接触して、ベルトにダメージを与える恐れがあるので、一定以上にユニットが下がらないよう後端も吊った構造にするなどの工夫を施すことでそれぞれの損傷リスクを軽減し、コストダウンにも寄与します。



冬の凍結に強い
エコロンローラ!
ベルトとローラが凍りつく
現象を防止します。

コンベヤベルトに触れる場合は、
必ず『キーロック』を行ってから、
触診、点検を行ないましょう

Yoshino
吉野ゴム工業株式会社
YOSHINO RUBBER INDUSTRIAL CO.,LTD.

●大阪Tel>06-6461-5751 ▲東京Tel>03-3883-7159

◆名古屋Tel>052-602-0090 ★九州Tel>093-551-0775

■URL><http://www.yoshino-rubber.co.jp>

※搬送ベルトのことならお気軽にご相談下さいませ。当社はISO9001:2008 全社認証取得致しております。